

第3号(2008.09.01 配信)

最近の原油、食料の暴騰で、ガソリン代が上がり食品も値上がりしています。相次ぐ値上げで、私たちは、音上げ・お手上げ状態です。関連して、ガソリンスタンドの話がテレビにも新聞にもよく出てきます。昨今は、突然の豪雨による事故・事件で、どのガソリンスタンドの近くか、情報の錯誤が起きました。ガソリンスタンド？それって、英語？専門家や協力隊員、JICA の皆さんならご存じのはず。どこの国でも、ガスステーション(gas station) ですよ。英国では、filling station とか petrol station ともいうそうです。つまり、ガソリンスタンドは日本語、というよりも、和製英語です。有名なのは野球のナイターで、もとは和製だったのが今は米国でも night game をナイターというようになってしまった。和製英語とて、あなどるべからず、です。

もともとは英語だけれど、本来の意味から離れて別の意味になった日本語も結構あるようです。過日、帰国した友人から、都心の「マンションに引っ越した」と移転通知をもらいました。マンションはだれもが使う言葉です。私たちにとっては不思議でも何でもないが、外国人が聞いたらたまげるのでは？どの英語辞書・辞典も、マンション(mansion)は、アメリカ大統領の官邸のように、市長や聖職者など社会的に高い地位にある人の大邸宅をいう言葉。学習用の辞書には、写真入りで説明もありました。大文字で定冠詞が付き the Mansion House と言えば、ロンドン市長の官邸を指すとのこと。すると、ワンルームマンションなどというのは、そもそも英語には有り得ない話になりますね。マンションでなくて、何と呼ぶか？ 専門家、隊員の皆さんなら「コンドミニウム」という言葉(condominium)をご存じでしょう。正しくは分譲の中高層。略して「コンド」。その持ち主から借りて住んだり、日本の団地のような中層の集合住宅に入れば「アパートメント(・ハウス)」住まい。英国流だと「フラット」(いずれも借りる場合)です。

何も、万事を英語通りになどと無粋なことを言ってるのではありません。日本で「ガスステーションに行ってくる」なんていうと「あのヒト、キザね」といわれます。「アパートに住んでる」といえば、安い場末の住宅かと思われそう。商社や不動産業者は、高級そうな呼び名を選んでいるみたい。日本でマンションは今や普通の用語です。ヴィラ(villa)とかシャトー(chateau)とか。ヴィラは英語では、邸宅、別荘。シャトーは、フランス語でお城のこと。チョー高級のイメージです。

要は、せっかく海外で活動し生活してきたのだから、英語(フランス語やスペイン語も)の正確な意味を知り理解し、その上で、国内で、日本人同士では、和製でも本来の意味以外でも、どんどん使って何の差支えもないはず、ということ。

それはそうだけれど、外国語の正しい意味・用法を覚える、和製英語探しから英語の上達につながるという知的ゲームは面白く快適ではないかと思いますが、いかがですか？

ガソリンスタンドから始まったこの話。クルマ関連でいくつか和製英語をひろうと；キャンピングカーはどう？この際いえば、英語のカー (car)は、乗用車、鉄道車両に限られ、バスやトラックは別。一般にクルマはvehicleで、正解は camper。牽引式は trailer。バックミラーが和製英語なことは大勢の方がご存じで、英語は rearview mirror。ハンドルが和製英語とは、私もあちらで教わりました。handle は、取っ手ですもんね。ドアの取っ手と勘違いされないように。運転用のハンドルはステアリング・ウィール (steering wheel)、自転車のはハンドルバーでした。なるほど、と思ったものです。

(9月1日記。国際サブロー)